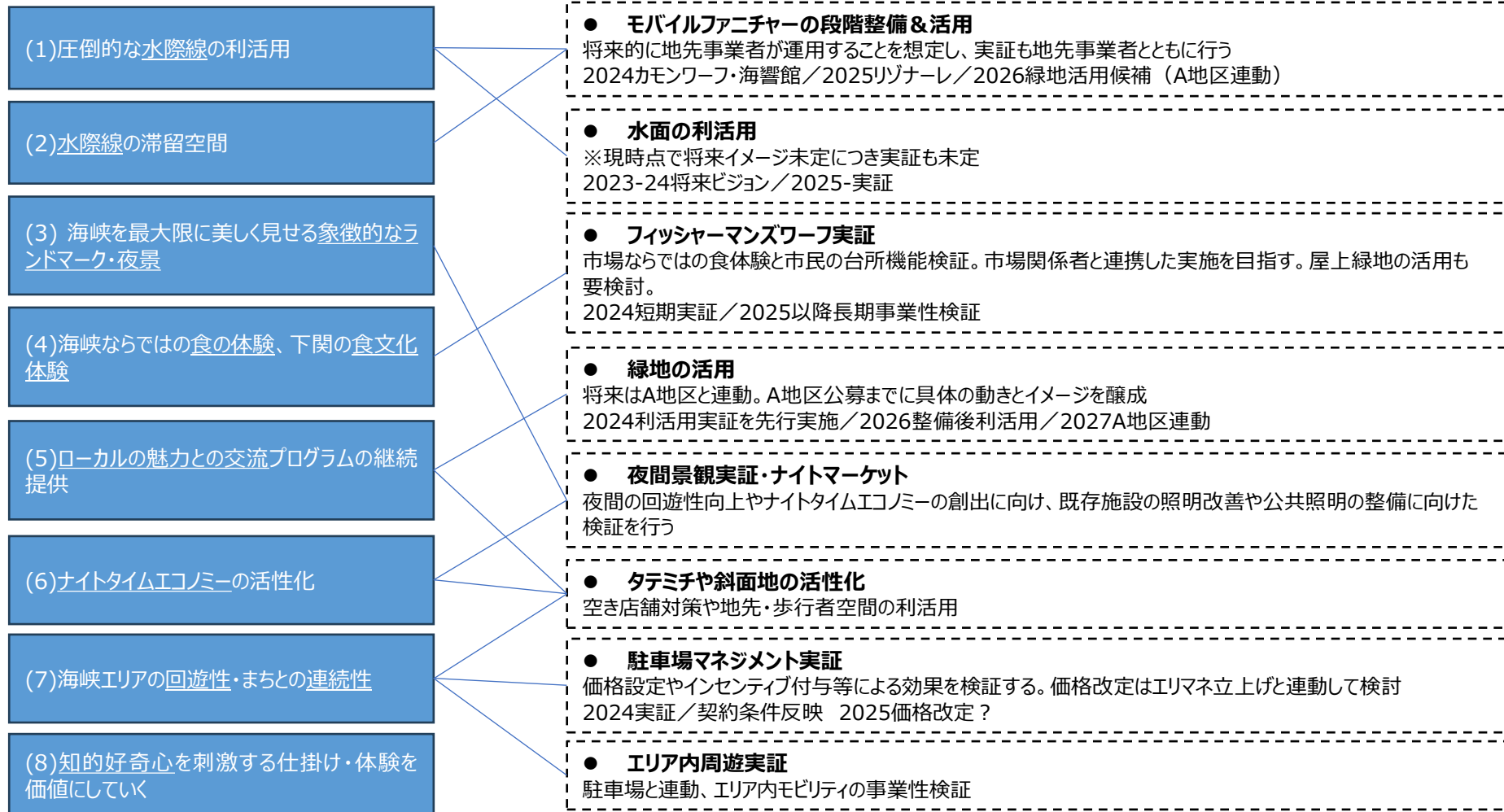


# 社会実験の実施方針

令和5年11月 デザイン会議

# 社会実験の目的

- ・ 将来像の実現に向けて必要な仕掛け（下記8項目）を推進するための与条件の整理
- ・ 新たなコンテンツによるエリアの滞在環境の向上及び賑わいの創出の確認
- ・ コンテンツそのものの事業性や需要、効果の確認
- ・ エリア全体の回遊性の向上や滞在時間延長の効果の確認

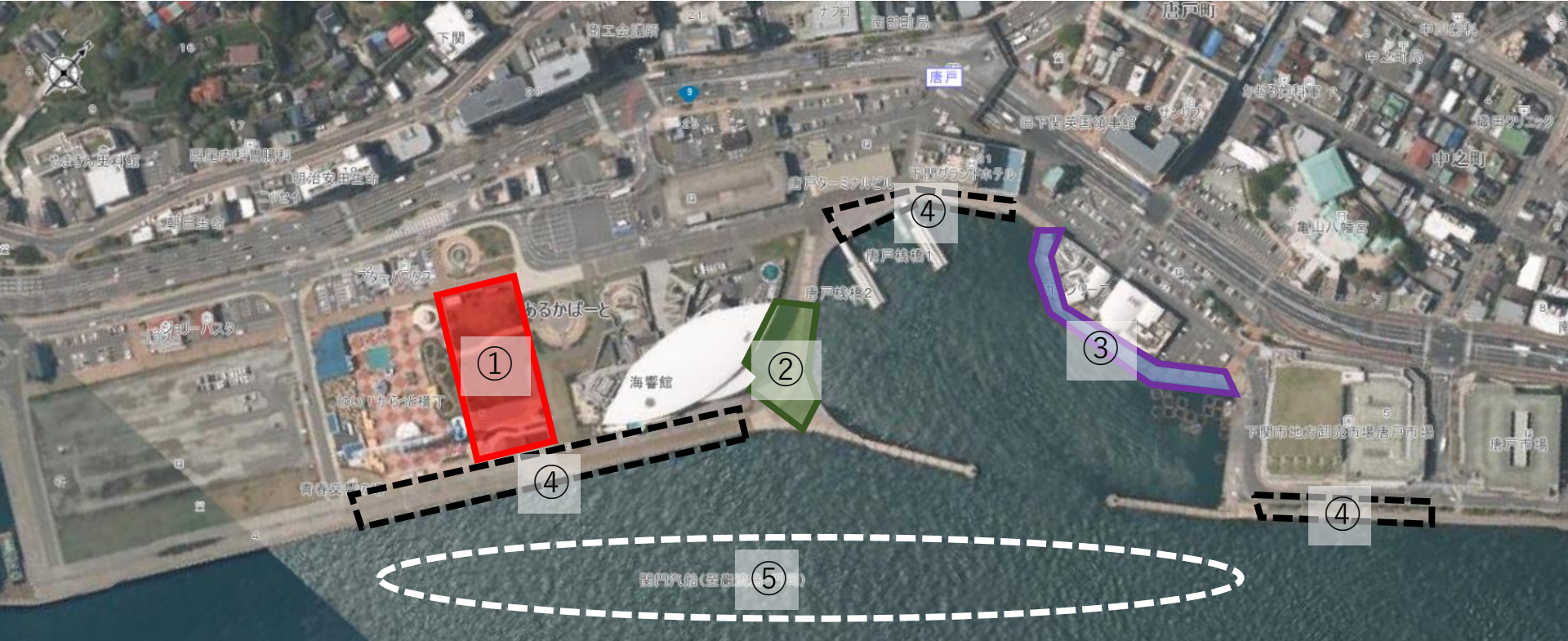


### 3か年の重要事項（実証関連）

- 2024年度
- 海峡エリアの魅力の中核である唐戸市場との連携、みらいパーク I の契約期間満了を見据えた駐車場検討が最優先課題
  - 市場関係者との調整を丁寧に進め食関連の実証を目指しつつ、モバイルファニチャーや夜間景観により水産漁業レクリエーションゾーンに動きを作るとともに、海峡エリアの一体感・回遊を創出する
  - A地区事業のスケジュール見直しに伴い、プロジェクト機運醸成も意識。A地区サウンディングの準備として港湾緑地の利活用シーン形成も必要
- 2025年度
- 2024年度に続き、食関連の実証を重ねるとともに、リゾナーレのオープンを見据え、マリンパークゾーンのpromenadeにモバイルファニチャー等で動きを作る
  - アクティビティハーバーゾーンでも将来像に沿った検証開始が必要
  - 駐車場マネジメント実証で周辺駐車場の利活用が期待できれば、エリア内モビリティの実証も必要（エリマネ事業の一部の可能性もあるため）
- 2026年度
- 港湾緑地の整備を完了させ、新たな環境での利活用を重ね、A地区事業者との将来の連動も意識して活用の担い手を創出する
  - アクティビティハーバーゾーンの利活用も継続
  - これらをエリマネマネジメント主体が主導できる形が理想

# 実施エリア

- ・ エリアの核となる場所でのプログラム実施（各エリアの将来像の検証）
- ・ エリアをつなぐ間の部分での環境改善（エリア間の回遊性の検証）



① 港湾緑地

② 海響館周辺

③ カモンワープ周辺

④ 唐戸市場 & エリア間部

⑤ 海峡クルーズ

(3) 海峡を最大限に美しく見せる。象徴的なランドマーク・夜景

(5) ローカルの魅力との交流プログラムの継続提供

(4) 海峡ならではの食の体験  
下関の食文化体験

(1) 圧倒的な水際線の利活用

(6) ナイトタイムエコノミーの活性化

(5) ローカルの魅力との交流プログラムの継続提供

(6) ナイトタイムエコノミーの活性化

(2) 水際線の滞留空間

(8) 知的な好奇心を刺激する仕掛け・体験を価値にしてい

(6) ナイトタイムエコノミーの活性化

# 実施イメージ（詳細は今後）

## 港湾緑地

- ①滞在環境を向上させる什器や日除の設置
- ②シンボリックな空間性の創出
- ③各種プログラムの実施



## 海響館周辺

- ①建物を利用した活用プログラム
- ②市民の日常的な活用



## カモンワーク周辺

- ①下関の食を味わうプログラム（景観を含め）
- ②屋外空間（海沿い）の活用



# 実施スケジュール（案）

		R5			R6							
			1~3	4	5	6	7	8	9	10	11	12~
①港湾緑地	什器・日除 など設置物	全体配 置・ ゾー ン 分 け 検 討	設置物準備		設置・効果測定（イベント時には必要に応じて再配置）							
	夜間景観		照明演出									
	企画実施		自主企画検討		月に1回程度の自主企画の実施							
	要項検討		公募開始		企画公募・随時実施							
②海響館周辺 ～連絡船 乗り場	什器・日除 など設置物		設置物準備		設置・効果測定（イベント時には必要に応じて再配置）							
	夜間照明				照明演出							
	企画実施				自主企画検討		夏休みに2回程度実施					
③カモンワー フ周辺	什器・日除 など設置物		運用 ルール 確認	設置物準備		設置・効果測定						
	企画実施		※来年度の実施の可否はカモンワーフや唐戸市場とも意見交換し検討									
④唐戸市場 & エリア間部 分	什器・日除 など設置物			設置物準備		設置・効果測定（実施状況を見ながら定期的に配置換え）						
⑤海峡クルーズ	企画実施			連携検討		連携先との検討状況により実施期間は決定						

効果  
検証